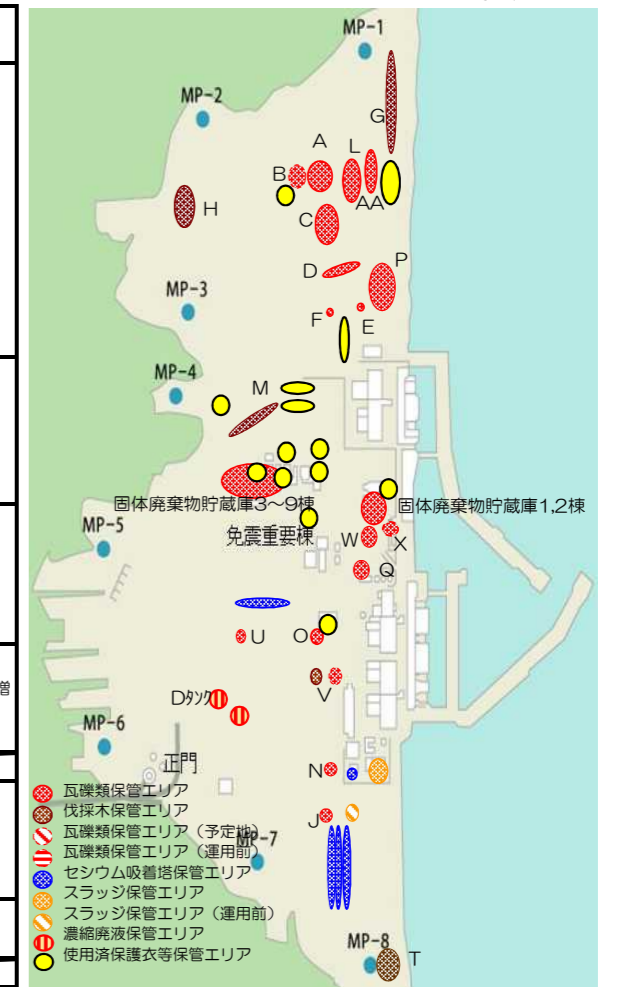


瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.5.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.4.26 - 2019.5.31)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} / 保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,000 m ³	+900 m ³	①②	95%	198500 / 252700 (79%)	・フランジタンク解体片 2019年5月末時点でコンテナ951基保管。 エリアP1コンテナ数：665基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：286基 (2018年3月15日～)
	C	屋外集積	0.01未満	62,600 m ³	+100 m ³	①③④	99%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	0 m ³	—	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	42,500 m ³	0 m ³	—	83%		
	P1	屋外集積	0.01未満	51,100 m ³	+300 m ³	①	80%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100%		
	V	屋外集積	0.01	4,800 m ³	0 m ³	—	80%		
	AA	屋外集積	0.01未満	9,400 m ³	+400 m ³	①	26%		
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	38200 / 71000 (54%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,100 m ³	微増 m ³	—	88%		
	P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	微増 m ³	—	62%		
	W	シート養生	0.03	8,000 m ³	+200 m ³	①⑤	27%		
	X	シート養生	0.01	7,900 m ³	0 m ³	—	65%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100%	18100 / 31700 (57%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m ³)増加。 (2018年5月)
	A	仮設保管設備	0.14	1,000 m ³	0 m ³	—	14%		
	E2	容器 ^{※4}	0.01未満	500 m ³	微増 m ³	—	26%		
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%		
Q	容器	0.04	0 m ³	-100 m ³	⑥	0%			
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	16,300 m ³	+500 m ³	⑤⑦	36%	16300 / 45600 (36%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m ³)増加。 (2018年2月)
合計(カレキ)				271,200 m ³	+2,400 m ³	—	68%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	微増 m ³	—	63%	96800 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	0 m ³	—	2%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—		
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
合計(伐採木)				134,100 m ³	微増 m ³	—	76%		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	55,400 m ³	+200 m ³	⑧	81%	55400 / 68300 (81%)	・使用済保護衣等焼却量 5553t (2019年5月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1346本 (2019年5月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				55,400 m ³	+200 m ³	—	81%		

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物 ③敷地造成関連工事 ④5,6号関連工事 ⑤1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ⑥固体庫9棟へ瓦礫の移動
 ⑦一時保管エリアQからの移動 ⑧使用済み保護衣等の受入

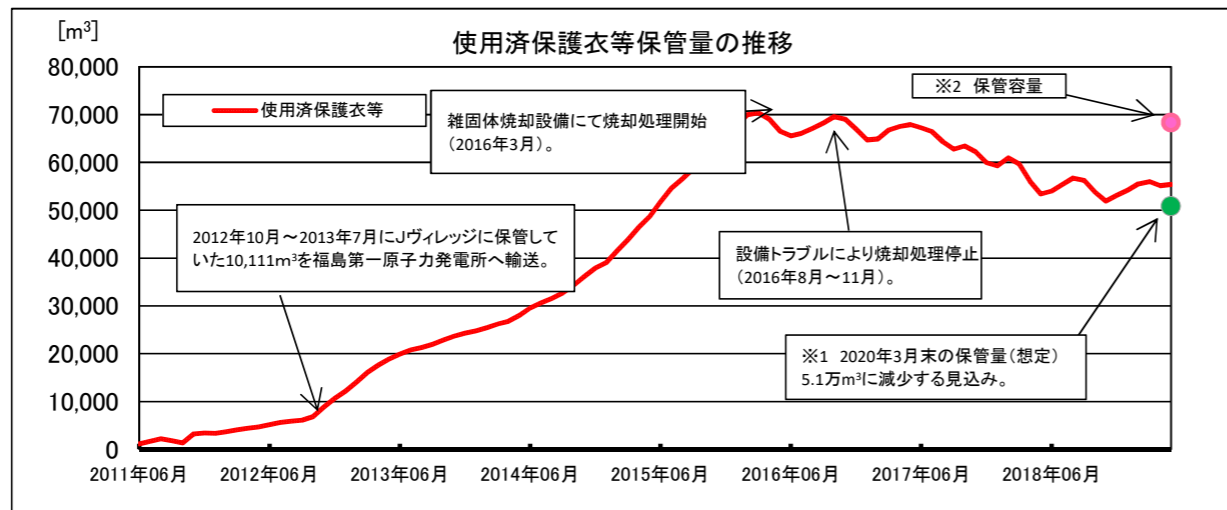
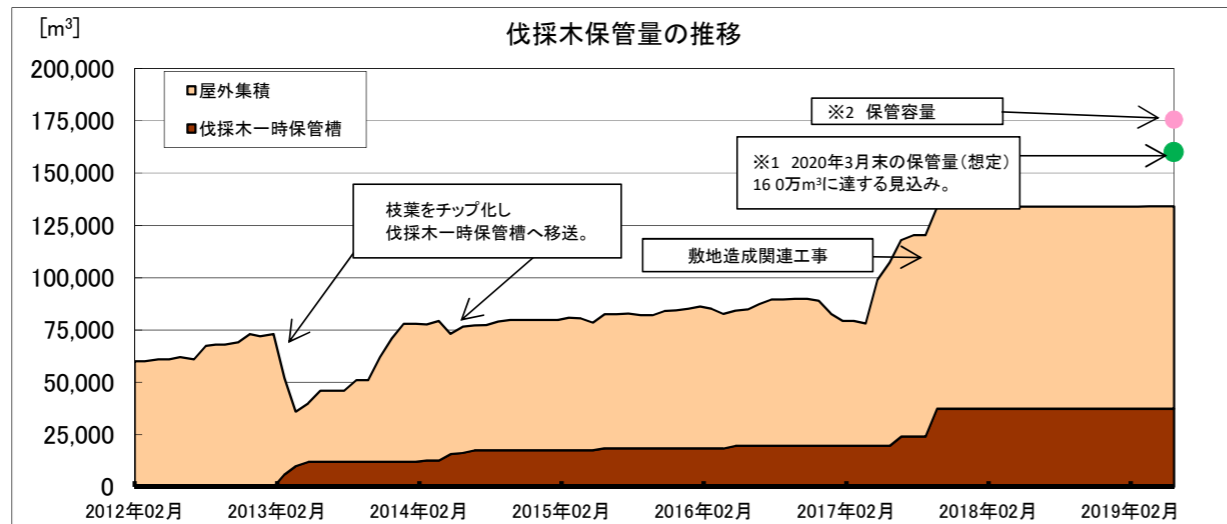
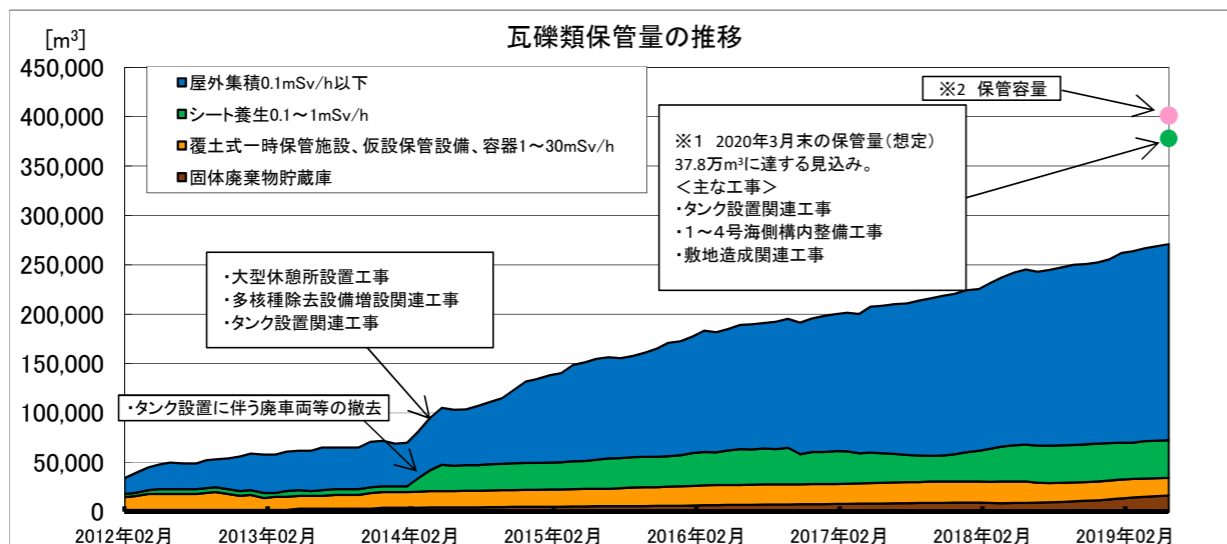
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。



水処理二次廃棄物の管理状況(2019.6.6時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.5.2 - 2019.6.6)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス	
水処理 二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	775 本	0 本	4393 / 6372 (69%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	218 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,612 基			+12 基
			増設	1,497 基			+17 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本			0 本
		多核種除去設備処理カラム	既設	11 塔			0 塔
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		206 本	0 本				
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,364 m ³	+12 m ³	9364 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9264 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS)：約100[m]	

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.5.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.6.6時点)

